

平成28年度「テレワーク活用ネットワーク会議」第2回会議の議事概要

日時 平成29年3月16日(木) 15:00~17:00

場所 テレワークセンター徳島 研修室

委員(8名)

会長	猪子和幸	NPO法人ジェイシーアイテレワーカーズネットワーク理事長
副会長	米澤和美	徳島県社会保険労務士会会長
委員	川原雅好	株式会社ダンクソフトチーフエンジニア
委員	佐々木雅信	徳島県中小企業家同友会事務局長
委員	竹内真由美	フリーランス(元株式会社プラットイーズ社員)
委員	田澤由利	株式会社テレワークマネジメント代表取締役
委員	葛籠枝美	株式会社テレコメディアコーポレートデザイン部マネジャー
委員	野田由香	NPO法人チルドリン徳島理事長

猪子会長

- ・テレワーカーの養成について、養成して終わりではなく、養成後に仕事を準備してあげることが大事。テレワークの最終目標は、雇用契約に基づく完全在宅の雇用と思っている。

米澤副会長

- ・雇用型テレワークの推進について、企業に実感してもらえるような取り組みをする必要がある。例えば、育児休業の期間にテレワークセンターで実際にやってもらうとか。ハローワークにおいて、育児休業の申請に来る際に周知する等。

佐々木委員

- ・まだまだテレワークは認知されていない。仕事の細分化や技術的なところでどうすればテレワークを導入出来るか具体的に見えれば良いと思う。
- ・人材確保が難しい状況で、ICTママの養成といったようなものが急がれているかと思うが、ひとつの突破口になるのであれば、早い展開が必要かと思う。

田澤委員

- ・テレワークの定義が変わってきている。
「ICTを活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。」
- ・仕事は企業にあり、発注は企業が行うため、企業の中でテレワークが進めば、外へも仕事を出しやすくなるといった観点から、徳島県がやっている企業におけるテレワークを推進するというやり方は間違っていないと思う。
- ・コーディネーターを養成しているようだが、養成している団体それぞれで役割が違うようなので、名前を変えてみてはどうか。例えば、総合コーディネーターとか支援型コーディネーターとか。

川原委員

- ・最近は大企業の手勤務導入とかニュースで出ており、普及は急速に進んでいるようだ。都会からきた企業に転職するといった例もあり、都会の企業に人材を取られているという形になっているので、県内企業に普及が進んでいけば良いと思う。

葛籠委員

- ・テレワークを使って働く人が養成されているのはいいこと。一方、企業側から見れば、導入する際にどうすればいいか、個人情報の相談等はどこにすればいいかといった悩みがあるのではないかと。
- ・イベントをするにしても、働き手に対してか、企業に対してかどうかわからない。それぞれにささるイベントにしていかないと自分のことに感じない。

竹内委員

- ・育児で仕事をやめた場合、復帰する際のモチベーションというか不安がある。そこをサポートしていただければいいと思う。

野田委員

- ・この会議について、資料はペーパーレスとし、データを事前に送ってもらって会議自体は意見から始められるようにしてはどうか。資料の説明等の時間があれば、もっと議論ができる。
- ・テレワークセンターがいくつか出来ているが、名前が混在しており、わかりにくい。内容がよく似ているならまとめてもいいのでは。